

# 廃棄物の処理状況

## 1 掛川市のごみ排出量の状況

(1) 掛川市のごみ排出量の総計

(単位：t)

年度	燃えるごみ	燃えないごみ	資源物	合計	対前年比	資源化率	集団回収	リサイクル率	人口	世帯数
12年	24,577	5,777	3,151	33,505		9.4%	2,928	16.7%	113,114	33,484
13年	21,599	5,381	4,814	31,794	-5.1%	15.1%	3,156	22.8%	113,559	34,074
14年	19,666	4,229	6,461	30,356	-4.5%	21.3%	3,154	28.7%	113,917	34,536
15年	20,218	4,392	6,456	31,066	2.3%	20.8%	3,213	28.2%	114,247	35,208
16年	20,141	4,639	6,268	31,048	-0.1%	20.2%	3,499	28.3%	114,588	35,695
17年	23,098	2,569	6,156	31,823	2.5%	19.3%	3,668	27.7%	114,929	36,361
18年	25,005	799	6,217	32,021	0.6%	19.4%	4,032	28.4%	115,216	36,968
19年	22,418	617	6,437	29,472	-8.0%	21.8%	4,440	32.1%	115,449	37,602
20年	21,827	542	6,216	28,585	-3.0%	21.7%	4,911	33.2%	115,361	37,827
21年	21,405	525	5,521	27,451	-4.0%	20.1%	4,635	31.7%	115,504	38,203
22年	21,281	579	4,636	26,496	-3.5%	17.5%	593	19.3%	115,449	38,513
23年	22,296	546	4,212	27,054	2.1%	15.6%	511	17.1%	115,361	38,978
前年比	1,015	-33	-424	558			-82		-88	465
	4.8%	-5.7%	-9.1%	2.1%		-1.9%ポイント	-13.83%		-2.2%ポイント	-0.08%

\*資源化率＝資源物量÷ごみ排出量の合計

\*リサイクル率＝(資源物量＋集団回収量) ÷ (ごみ排出量の合計＋集団回収量)

(1) 燃えるごみ

燃えるごみの排出量が1,015 tの増加（前年比4.8%増）しています。

(2) 燃えないごみ

燃えないごみの排出量が33 tの減少（前年比5.7%減）しています。

(3) 資源物

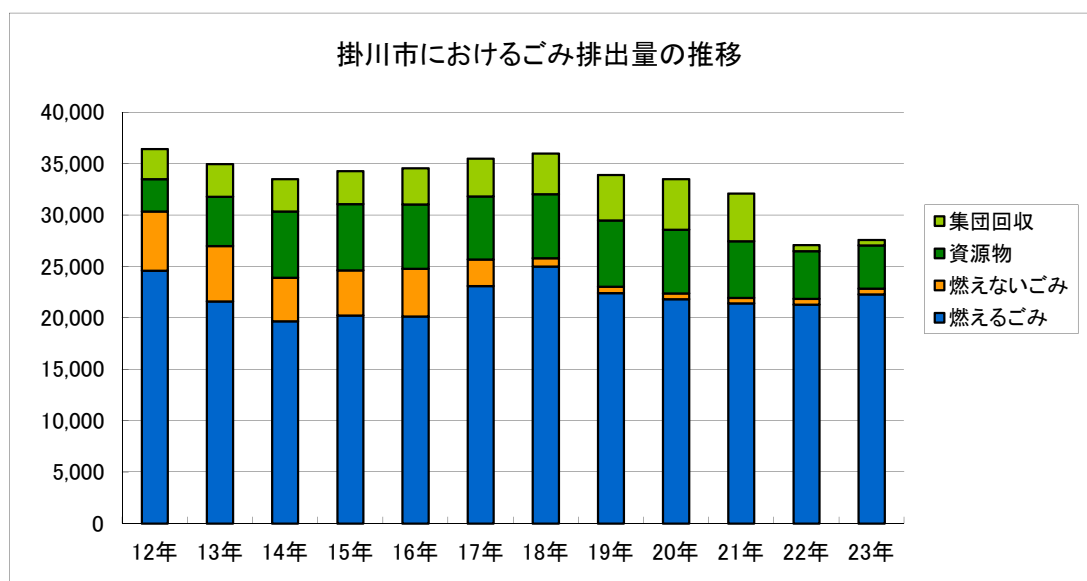
資源物の排出量が424 tの減少（前年比9.1%減）しています。

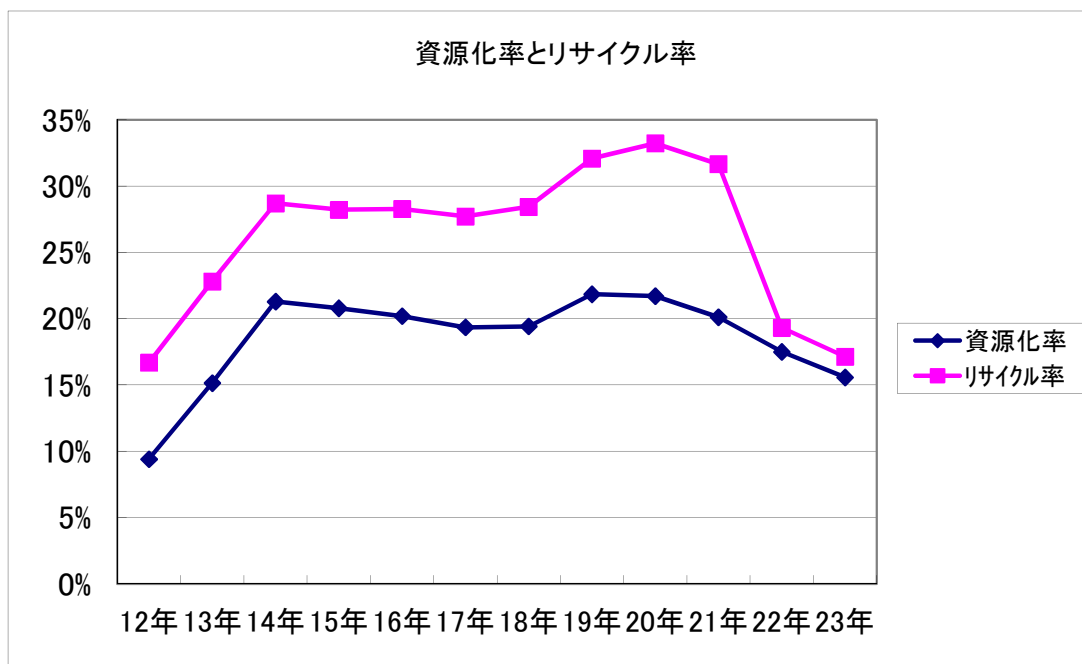
(4) 排出量について

① 1日1人当たりのごみの排出量は、656 gで前年比2.0%増加（前年度643 g）しています。

② 1日1世帯当たりのごみの排出量は、1,937 gで前年比5.2%増加（前年度1,927 g）しています。

③ リサイクル率は、17.1%で前年度19.3%を2.2ポイント下回っています。





(5) ごみ減量に向けての対策

- ① 分別の徹底と燃えるごみへの資源物(プラスチック資源、雑がみ)の混入を防ぐため、専任職員を配置し、区役員、クリーン推進員と共にごみ集積所の巡回指導を実施します。  
また、地区の要望に応じて分別説明会の開催や啓発看板の作成を行います。
- ② 剪定枝の地区回収を実施し、焼却量を減少させ、リサイクルを進めます。
- ③ アパート管理会社や人材派遣会社を対象とした説明会や個別指導を実施し、関連住民に対する改善指導に努めます。
- ④ 多量排出事業所へ立ち入り指導を実施し、ごみ処理現状報告を求めるとともに、モデル事業所の取り組みを紹介しながら、ごみ減量とリサイクル推進に向けた取り組みへの指導に努めます。

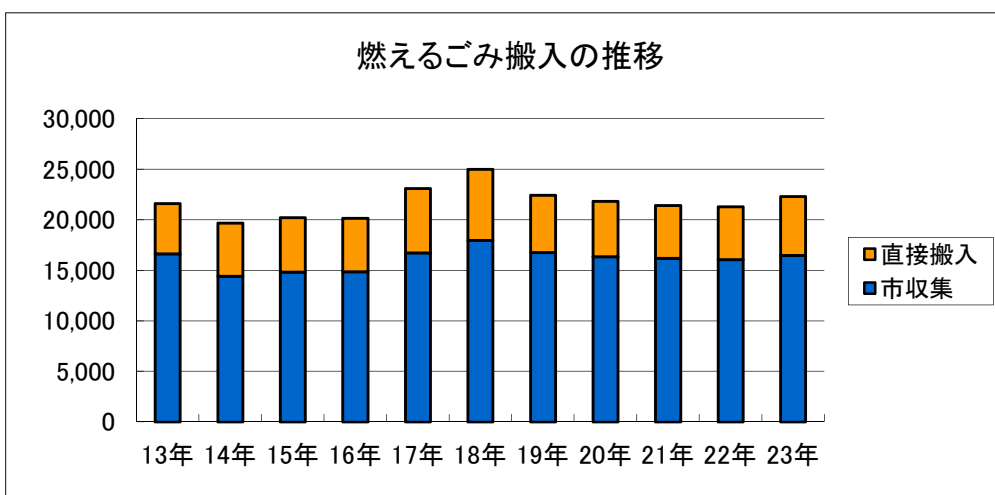
(6) 資源物リサイクルについて

- ① このBDFのうち22,182Lが掛川市のごみの収集車の一部に利用されました。収集車の燃費を4.5L/kmと仮定すると99,819km走行できることとなります。これは、地球を約2.5周できる距離で、その分石油資源を節約できたこととなります。  
※地球1周=約40,000kmとして計算
- ② 古紙は、543トン収集しました。再生紙として利用することによって、20年～25年の立木10,860本を伐採せずすみしました。  
※古紙1t=立木20本として計算

(2) 燃えるごみ排出量の推移

(単位：t)

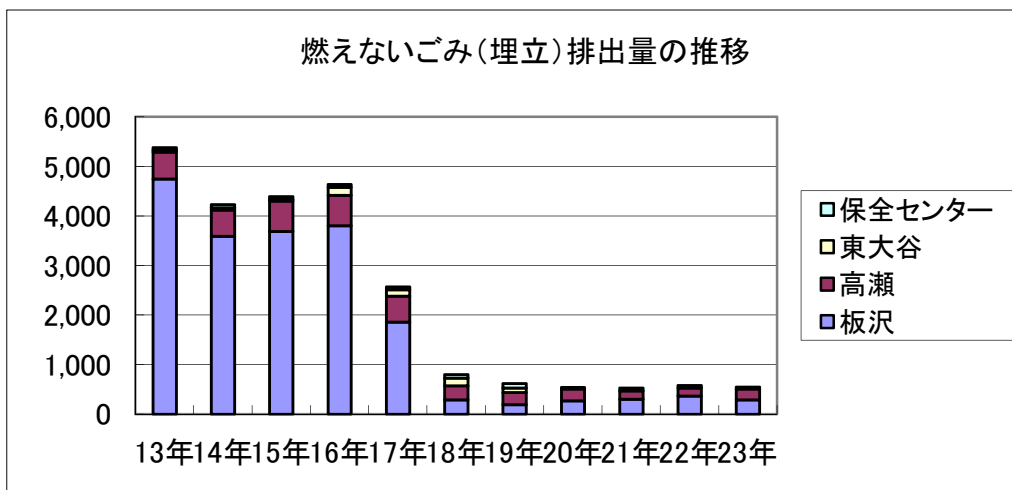
年度	市収集	直接搬入	燃えるごみ	対前年増加率
13年	16,633	4,966	21,599	-12.1%
14年	14,405	5,261	19,666	-8.9%
15年	14,828	5,390	20,218	2.8%
16年	14,874	5,267	20,141	-0.4%
17年	16,718	6,380	23,098	14.7%
18年	17,971	7,034	25,005	8.3%
19年	16,777	5,641	22,418	-10.3%
20年	16,342	5,485	21,827	-2.6%
21年	16,204	5,201	21,405	-1.9%
22年	16,081	5,200	21,281	-2.5%
23年	16,470	5,825	22,296	4.2%



(3) 燃えないごみ(埋立) 排出量の推移

(単位：t)

年度	板沢	高瀬	東大谷	保全センター	燃えないごみ(埋立)	対前年増加率
13年	4,746	543	43	49	5,381	-6.9%
14年	3,594	529	43	63	4,229	-21.4%
15年	3,692	610	32	58	4,392	3.9%
16年	3,803	618	163	55	4,639	5.6%
17年	1,859	524	129	57	2,569	-44.6%
18年	288	287	155	69	799	-68.9%
19年	190	248	92	87	617	-22.8%
20年	269	240	32		541	-12.3%
21年	300	170	56		526	-2.8%
22年	370	157	52		579	10.1%
23年	288	220	38		546	-5.7%



(4) 資源物排出量の推移

(単位：t)

年度	かん	びん	PET ボトル	プラスチック	白色 トレイ	古紙	古布
12年	609	1,084	132		19	537	40
13年	504	1,162	217	424	29	1,866	58
14年	484	937	234	854	38	3,263	68
15年	478	922	257	879	35	3,147	60
16年	455	890	253	940	35	2,968	54
17年	357	869	254	894	34	2,806	64
18年	401	796	279	875	34	2,739	55
19年	301	729	269	1,101	41	2,198	56
20年	282	711	237	1,159	30	1,312	16
21年	256	601	241	1,141	27	948	12
22年	238	553	241	1,185	24	769	10
23年	219	529	236	1,071	20	543	9

(単位：t)

年度	金属回収	乾電池 蛍光管	食用油	排出量計	集団回収	合計	対前年 増加率
12年	722	8		3,151	2,928	6,079	
13年	540	14		4,814	3,155	7,969	31.1%
14年	548	35		6,461	3,153	9,614	20.6%
15年	616	61	1	6,456	3,213	9,669	0.6%
16年	614	41	18	6,268	3,499	9,767	1.0%
17年	812	40	26	6,156	3,668	9,824	0.6%
18年	971	35	32	6,217	3,974	10,191	3.7%
19年	908	42	35	5,680	4,440	10,120	-0.7%
20年	796	56	35	4,634	4,911	9,545	-5.7%
21年	812	42	38	4,118	4,635	8,753	-8.3%
22年	694	59	39	3,812	593	4,405	-49.7%
23年	667	38	36	3,368	511	3,879	-11.9%

- ※ 白色トレイ、ペットボトルは、回収協力店の回収量も含まれます。
- ※ 白色トレイは平成7年4月から食品衛生協会が自主事業として始め、現在も継続して頂いております。
- ※ 平成15年度の食用油回収は、市内8地区のモデル地区の収集量です。
- ※ 平成22年度の集団回収量は、自治会などの古紙回収団体が古紙業者と直接取り引きを行ったため、回収量が大幅に減少しました。

